

管渠内状況動画確認 暗視カメラによる動画撮影

特 徴

- 1) 小規模管渠（1～3号人孔）は暗視カメラにより、撮影可能。
- 2) 大規模管渠（特殊人孔、水路等）には専用照明を設置。
- 3) フロートスイッチにより、増水時のみの撮影が可能。
- 4) 雨水吐室等、危険な場所の状況を動画での監視に最適。
- 5) 最大4台のカメラにより、あらゆる方向から撮影可能。
- 6) 商用電源に加え、バッテリー駆動による撮影も可能。
- 7) PH計や濁度計との連動も可能。



※※※このような現場におすすめです※※※

- ・ 雨水吐室の越流、流出状況の確認
- ・ 水面制御板の効果判定
- ・ 夾雑物スクリーンの効果判定
- ・ 暗渠内の水流、流向、水位の確認
- ・ 降雨時の増水速度や水位の確認
- ・ 管渠内での作業監視
- ・ 不法投棄などの監視



管渠内状況動画確認 暗視カメラによる動画撮影

機能仕様

管渠内や雨水吐室内にTVカメラや照明を設置し、水路内へ設置されたフロートスイッチにより、VTRを起動する。

このシステムにより管渠内の状況や、雨水吐の状況、夾雑物、スクリーンの動作状況が動画にて確認する事が出来る。

バッテリーによる駆動が可能で、必要時以外は電源を消費せず連続約7時間の撮影が可能。

VTRはハードディスクレコーダーを使用し、小型モニターを併用すればその場で動画確認が可能。

